

## 第20回懇話会における委員からの意見交換提案事項

### [1] BSE検査について

- 「BSE（牛海綿状脳症）対策として続いている国産牛の全頭検査を巡り、都道府県などが頭を悩ませている。国は7月に検査基準を緩和するのに合わせて、全頭検査をやめるよう全国に通知。しかし、続ける自治体の一つでもあれば、検査を受けていない牛肉は消費者から敬遠されかねないとして、多くの自治体は「ほかが一斉にやめるのなら」と横にらみを続けている。――（読売新聞、2013年5月25日）」（以下参照）と書かれているが、奈良県での対応はどのようなものであるか？  
―坂上委員

全国一斉ならやめる…全頭検査、自治体横にらみ

BSE（牛海綿状脳症）対策として続いている国産牛の全頭検査を巡り、都道府県などが頭を悩ませている。国は7月に検査基準を緩和するのに合わせて、全頭検査をやめるよう全国に通知。しかし、続ける自治体の一つでもあれば、検査を受けていない牛肉は消費者から敬遠されかねないとして、多くの自治体は「ほかが一斉にやめるのなら」と横にらみを続けている。

#### ◆7月1日緩和

「何とか全国一斉で全頭検査を見直せるよう調整している」。21日に東京都内で開かれた政府の一般向けの説明会で、厚生労働省の幹部は強調した。厚労省による全頭検査の見直し要請は、7月1日から検査対象が「月齢31か月以上」から「同48か月超」に緩和されるのを受けたものだ。大半の肉用牛は48か月までに出荷されており、新基準になれば検査は不要になるとしている。

厚労省が5月、検査を実施している75の都道府県と市に全頭検査についてアンケートしたところ、「やめる・やめる方向」との回答が70、「検討中」が4、「未回答」が1だった。

ただ、多くの自治体が懸念しているのは他の動向だ。読売新聞が5月中旬、75自治体に取材したところ、全頭検査をやめると明確に回答した自治体は19だけで、「全国一斉ならやめる」（埼玉）、「全国横並びが前提」（佐賀）、「他県の判断が出そろうのを待つ」（山梨）などと条件を付ける自治体が目立った。中には「基準が見直される7月までに方針を出せるか未定」（島根）との回答もあった（読売新聞、2013年5月25日）。

### [2] 輸入食品の安全対策等について

- 先日テレビ（BS）で「震える牛」という映画を見ました。心臓がドキドキして、恐ろしい映画でした。ミート大手会社と肉加工会社の食の廃棄物（病気や腐った肉）で作ったミートミンチが暴かれていくのですが、巨大組織と警察や政治家が絡んで、殺人まで起こり、本当に恐ろしい映画でした。  
中国から食材が大量に輸入されている今日、国内でも恐ろしいのに、全く見えない中国を相手に、厚生労働省はどのように対応しているのでしょうか。特に学校給食には厳しくしてくださいね。  
―山岡委員

### [3] 寄生虫による食中毒について

- 今年度、アニサキスによる食中毒が急増していることが報道されている（6年間で患者が約10倍になっている）。奈良県では、近年どのような状況であるか？  
また、アニサキスは、加熱や-20℃以下の冷凍で死滅するが、そのような具体的な指導や啓発について、奈良県の現状はどうであるか？  
―坂上委員

[4] 遺伝子組換え食品のうちの遺伝子添加物の安全性評価について

- 遺伝子組換え食品については、厚生労働省で安全性審査が終了し公表された8つの作物があるが、遺伝子組換え添加物にはどのようなものがあるのか、また、その安全性評価や基準等について教えていただきたい。  
—中山委員

[5] 県ホームページで紹介されている県産農産物、飲食店の衛生管理対策について

- 県ホームページにおける、「味わう」というカテゴリーの各種サイトにおいて地産地消の観点から県内産農産物、それを利用した飲食店等のサイトが複数紹介されています。

県内産農産物等をPRすることは、県として重要なことと思いますが、どのサイトを閲覧しても紹介されている農産物、店舗等がどのような食品安全対策を行っているかが記載されていません。(例えば大阪府のホームページにおいては、府認証制度等の食品安全対策も同時に掲載されています。)

ホームページを閲覧する人は、どのような安全対策が施されているか同時に情報提供してもらいたいと思います。

また、先ほど公表された県民調査において、「食の安心・安全」に関することが第3位にランクされています。

そこで、このような農産物、店舗等の食品安全対策は、どのように確保されているのでしょうか？

また、県がホームページで紹介する以上、このような農産物、店舗等の安全対策についても積極的にホームページ上で公表すべきと考えますが如何でしょうか？

—岡山委員

[6] 奈良県の自給率について

- 奈良のうまいものや奈良県産野菜も増えてきて嬉しく思っていますが、奈良県の自給率はアップしましたか。(地産地消が進むといいなと思っています)

—寺田委員

[7] 食品ロスについて

- 食品のロス問題は、相変わらず大きな問題であると思われるが、奈良県では、どのような(具体的な)対策を講じているか？

—坂上委員

[8] 奈良県HACCP研究会の活動内容について

- 平成25年度奈良県HACCP導入研修会まとめ

—森委員